

地震・津波への対応について（お願い）

大規模な地震が発生した場合は、まず自身の安全を確保し、火気の始末をして出火防止に努めてください。また、家族の安全の確認と確保をし、テレビやラジオ等で正しい情報の収集に努めてください。さらに、長期的な対処のためにライフラインの確認・確保が必要になるかもしれません。沿岸部では、津波の来襲を念頭に、急いで安全な場所に避難するようにしてください。

ぜひ、ご家族で災害時の対応や避難経路等の確認をしておいてください。

生徒の登下校につきましては、下記のように対応したいと思いますので、ご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

記

1 自宅にいるとき

■非常に強い地震のとき（震度6弱以上）

- 学校は臨時休校になる可能性が高いので、自宅で待機してください。
- 可能な限り、学校かクラス担任に連絡してください。

■強い地震のとき（震度5弱・5強程度）及び やや強い地震のとき（震度4程度）

- 公共交通機関が動いており、通学路の安全が確認された場合は、その日の時間割の教材を準備し、安全に留意して登校してください。学校では、生徒の登校状況をみて授業を開始します。
- 場所によっては、非常に危険な場合があります。被害の状況によっては、無理をしないで待機してください。この場合、学校かクラス担任に連絡してください。

2 登下校中のとき

■自転車・徒歩通学者

各自で安全な場所へ避難してください。

- ブロック塀・自動販売機等、転倒の可能性がある物から離れる。
- 頭部を保護し、安全な場所で身を伏せる。
- 崖下・川岸・橋の上・ガス漏れ箇所から速やかに遠ざかる。
- 沿岸部やため池の近くでは、高台や頑丈な建物の3階以上に避難する。

なお、登校中の場合は安全等の状況を十分確認して、可能な場合は登校してください。

■ことடன்等の公共交通機関による通学者

保護者に連絡するとともに、乗務員・駅員の指示に従ってください。

3 学校にいるとき

震度5弱以上の地震が発生し、保護者との連絡ができない状況になった場合、生徒は学校で待機させますので、保護者の方は道路等の安全確認の後に、迎えをお願いします。生徒を直接、保護者へ引き渡します。